

令和2年度

決算審査意見書

天塩町監査委員

目 次

第 1	審査の概要	3
第 2	審査の方法	4
第 3	審査の結果	4 ~ 11
第 4	財産に関する調書	12
第 5	基金の運用状況	13
第 6	本町の財政構造と財政指数	14
第 7	審査意見	15

令和2年度天塩町一般会計・特別会計歳入歳出決算
及び基金運用状況の審査意見について

地方自治法第233条第2項及び地方公営企業法第30条第2項の
規定により審査に付された、令和2年度天塩町一般会計・特別会計歳
入歳出決算及び地方自治法第241条第5項の規定に基づく基金の運
用状況について審査が終了したので、次のとおり審査意見を提出する。

令和3年8月31日

天塩町監査委員 友 廣 昭 二

天塩町監査委員 後 藤 忍

第1 審査の概要

1. 審査の対象

- (1) 令和2年度天塩町一般会計歳入歳出決算
- (2) 令和2年度天塩町国民健康保険特別会計(事業勘定)歳入歳出決算
- (3) 令和2年度天塩町水道事業特別会計歳入歳出決算
- (4) 令和2年度天塩町下水道事業特別会計歳入歳出決算
- (5) 令和2年度天塩町介護保険特別会計(保険事業勘定)歳入歳出決算
- (6) 令和2年度天塩町介護保険特別会計(サービス事業勘定)歳入歳出決算
- (7) 令和2年度天塩町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算
- (8) 令和2年度天塩町町民保養センター事業特別会計歳入歳出決算
- (9) 令和2年度天塩町国民健康保険病院事業特別会計歳入歳出決算
- (10) 令和2年度天塩町財産に関する調書
- (11) 令和2年度天塩町酪農振興基金の運用状況

2. 審査実施期間

令和3年7月30日から令和3年8月6日まで

3. 審査場所

- ・天塩町役場 研修室
- ・天塩町立国民健康保険病院 会議室

第2 審査の方法

1. 審査の方法

この決算審査にあたっては、町長から提出された令和2年度の各会計歳入歳出決算書、決算事項別明細書、実質収支に関する調書、財産に関する調書、天塩町酪農振興基金の運用状況等の書類についての係数の確認を行い、さらに、出納室の保管に属する諸書類、その他各課担当職員から関係書類の提出を求めるとともに、必要に応じ説明を求め、予算執行の適否及び会計処理が適正に行われているかなどについて審査した。

第3 審査の結果

1. 令和2年度天塩町一般会計及び特別会計歳入歳出決算書（国民健康保険病院特別会計は決算報告書）、決算事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書は、地方自治法、その他関係法令に準拠して作成されており、歳入歳出決算額、現金保管高、基金現在高等についても審査照会した結果、すべて正確であるものと認められた。

また、予算執行事務や財産管理、天塩町酪農振興基金の運用状況についても、適法かつ適正に行われているものと認められた。

2. 一般会計の歳入決算の状況は、次のとおりである

(単位：円、%)

区 分 款	令和元年度		令和2年度		増減額 (収入済額対比)	増減率
	予算現額	収入済額	予算現額	収入済額		
1 町 税	370,830,000	377,952,246	373,453,000	380,564,789	2,612,543	0.7
2 地方譲与税	82,054,000	84,275,007	87,623,000	89,552,000	5,276,993	6.3
3 利子割交付金	300,000	313,000	381,000	381,000	68,000	21.7
4 配当割交付金	1,000,000	1,027,000	931,000	931,000	△ 96,000	△ 9.3
5 株式等譲渡 所得割交付金	700,000	671,000	800,000	1,145,000	474,000	70.6
6 地方消費税 交 付 金	59,900,000	59,895,000	73,452,000	73,452,000	13,557,000	22.6
7 環境性能割 交 付 金	2,500,000	2,542,000	5,505,000	5,505,000	2,963,000	116.6
8 国有提供施設等所在 市町村助成交付金	300,000	300,000	300,000	300,000	0	0.0
9 地方特例 交 付 金	8,883,000	11,433,000	3,352,000	3,352,000	△ 8,081,000	△ 70.7
10 地方交付税	2,548,743,000	2,561,238,000	2,597,025,000	2,603,382,000	42,144,000	1.6
11 交通安全対策 特別交付金	550,000	535,000	700,000	691,000	156,000	29.2
12 分担金及び 負 担 金	10,212,000	10,121,174	5,401,000	4,587,894	△ 5,533,280	△ 54.7

13 使用料及び手数料	100,157,000	101,453,991	98,451,000	98,690,928	△ 2,763,063	△ 2.7
14 国庫支出金	215,616,000	210,390,620	1,161,067,000	791,589,002	581,198,382	276.2
15 道支出金	234,629,000	232,662,151	232,669,000	231,358,199	△ 1,303,952	△ 0.6
16 財産収入	22,129,000	21,700,360	19,782,000	23,071,259	1,370,899	6.3
17 寄附金	84,938,000	84,938,362	118,875,000	118,875,921	33,937,559	40.0
18 繰入金	65,215,000	65,003,988	102,481,000	80,721,398	15,717,410	24.2
19 繰越金	90,330,000	92,330,030	90,561,000	90,561,852	△ 1,768,178	△ 1.9
20 諸収入	187,074,000	182,476,195	215,802,000	217,855,777	35,379,582	19.4
21 町債	449,940,000	421,840,000	551,289,000	399,922,000	△ 21,918,000	△ 5.2
22 法人事業税交付金	0	0	1,100,000	1,308,000	1,308,000	皆増
0 自動車取得税交付金	9,000,000	8,805,896	0	0	△ 8,805,896	皆減
歳入合計	4,545,000,000	4,531,904,020	5,741,000,000	5,217,798,019	685,893,999	15.1

令和2年度天塩町一般会計歳入決算の収入率は、調定額 5,238,815千円に対し、収入済額 5,217,798千円で99.6%で、前年度と比べ0.2%増であった。

地方交付税収入済額は、2,603,382千円で前年度に比べ42,144千円の増であったが、歳入総額の49.9%を占め、本町の最も重要な財源となっている。

国庫支出金は、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金や特別定額給付金給付事業補助金などにより581,198千円増の791,589千円となっている。

また寄附金は、収入済額 118,876千円で前年度 84,938千円に対し33,938千円、40.0%増となっている。

※ 町税の収納額

(単位：円、%)

区分 税目	令和2年度				徴収率	徴収率 前年度 対比
	調定済額 (現年+過年)	収入済額	不納欠損額	収入未済額		
町民税(個人)	180,884,485	177,389,791	117,707	3,376,987	98.1	0.9
町民税(法人)	21,462,000	21,282,000	0	180,000	99.2	0.1
固定資産税(純)	144,308,169	137,938,861	619,400	5,749,908	95.6	0.4
固定資産税(国有資産)	3,793,000	3,793,000	0	0	100.0	0.0
軽自動車税	9,634,848	9,599,500	0	35,348	99.6	0.4
市町村たばこ税	30,561,637	30,561,637	0	0	100.0	0.0
計	390,644,139	380,564,789	737,107	9,342,243	97.4	0.5

町税の徴収率は、調定額に対して97.4%で、前年度より0.5%の増となっている。また収入未済額は前年度より2,363千円減額となっているが、依然として9,342千円と多額であることから、収納率の向上対策や行政サービス制限条例などにより、町税を完納されている方との不公平感がなくなるよう、適正な法的処分を含めさらなる徴収に対する取り組みを望むものである。

※ 主な使用料の収納額

(単位：円、%)

区分 税目	令和2年度				徴収率	徴収率 前年度 対比
	調定済額 (現年+過年)	収入済額	不納 欠損額	収入未済額		
火葬場使用料	330,000	330,000	0	0	100.0	0.0
観光施設使用料	2,107,300	2,107,300	0	0	100.0	0.0
港湾使用料	13,687,498	13,687,498	0	0	100.0	0.0
公営住宅料	85,899,903	75,392,000	0	10,507,903	87.8	2.3

使用料及び手数料では、特に町営住宅使用料の収入未済額は10,508千円と、昨年度より2,252千円減額となった。これからも臨戸訪問の強化や格安住宅への転居など、納付されている方との公平性と歳入確保のため目標数値を定め、さらに徹底した徴収率の向上を望むものである。

3. 一般会計の歳出決算の状況は、次のとおりである。

(単位：円、%)

区分 款	令和元年度		令和2年度		増減額 (支出済額対比)	増減率
	予算現額	支出済額	予算現額	支出済額		
1. 議会費	65,698,000	61,793,766	67,091,000	66,495,313	4,701,547	7.6
2. 総務費	924,819,424	907,561,374	1,725,100,153	1,212,102,618	304,541,244	33.6
3. 民生費	681,491,947	668,849,888	748,614,000	721,580,766	52,730,878	7.9
4. 衛生費	650,800,000	647,038,807	684,747,000	671,333,405	24,294,598	3.8
5. 労働費	1,320,000	1,223,425	2,298,000	2,138,710	915,285	74.8
6. 農林水産業費	276,489,000	272,079,346	356,357,000	348,084,230	76,004,884	27.9
7. 商工費	202,010,000	199,009,243	314,335,000	310,318,523	111,309,280	55.9
8. 土木費	581,139,000	576,701,676	659,742,000	657,220,015	80,518,339	14.0
9. 消防費	183,886,000	183,205,199	199,790,000	198,963,283	15,758,084	8.6
10. 教育費	391,996,000	345,568,957	435,142,000	409,664,358	64,095,401	18.5
11. 災害復旧費	0	0	0	0	0	0.0

12. 公債費	582,711,000	578,310,487	542,836,000	537,557,486	△ 40,753,001	△ 7.0
13. 諸支出金	0	0	96,661	29,000	29,000	0.0
14. 予備費	2,639,629	0	4,851,186	0	0	0.0
歳出合計	4,545,000,000	4,441,342,168	5,741,000,000	5,135,487,707	694,145,539	15.6

※ 実質収支に関する調書

(単位：千円)

区 分		金 額
1. 歳入総額		5,217,798
2. 歳出総額		5,135,488
3. 歳入歳出差引額		82,310
4. 翌年度へ繰り越すべき財源	(1) 継続費遞次繰越額	—
	(2) 繰越明許費繰越額	5,371
	(3) 事故繰越し繰越額	—
	計	5,371
5. 実質収支額		76,939
6. 実質収支額のうち地方自治法233条の2の規定による基金繰入額		—

令和2年度天塩町一般会計歳出決算については、歳出合計で5,135,488千円で、前年度と比べ694,146千円の増額である。

性質別では、経常経費のうち人件費・扶助費・公債費の義務的経費では、51,143千円の増額、物件費・維持補修費・補助費等・繰出金のその他の経費では、643,003千円の増額で、町の財政構造の弾力詠を判断するための指標である経常収支比率は82.8%となり、昨年度と比べ2.9%の減となっている。

今後も、義務的経費や維持管理費等の経常経費が年々増加していく一方で、地方交付税の減額など限られた歳入の中での財政運営は厳しくなることが予想されることから、事業内容の見直しなど安定した経常収支比率の維持に向けた取り組みを望むものである。

4. 天塩町国民健康保険特別会計（事業勘定）の決算状況は、次のとおりである。

(単位：円、%)

区 分	令和元年度		令和2年度		増減額 (決算額対比)	増減率	
	予算現額	決算額	予算現額	決算額			
国民健康保険 特別会計 (事業勘定)	歳入	464,457,000	464,004,109	500,672,000	496,080,452	32,076,343	6.9
	歳出	464,457,000	440,114,370	500,672,000	478,069,824	37,955,454	8.6

※ 保険税の収納額

(単位：円、%)

税目	区分	令和2年度				徴収率	徴収率 前年度 対比
		調定済額 (現年+過年)	収入済額	不納欠損額	収入未済額		
保険税		143,782,604	124,310,731	1,327,930	18,143,943	86.5	1.2

令和2年度天塩町国民健康保険特別会計（事業勘定）の保険税の調定額は143,783千円、収入未済額は18,144千円で、前年度より4,210千円減額となっており、滞納額についても3,762千円が減額となっている。

徴収実績は、昨年度に引き続き着実に向上されつつあるが、今後もさらに保険税を納付されている方との公平性と歳入確保のため、滞納処分はもとより、臨戸徴収や資格証明書の交付などで滞納者と直接面談する機会を増やし、徴収事務の円滑化と滞納整理の向上を図られたい。

また、保険給付費は、288,436千円で前年度より52,123千円増額となっており、高齢化に伴う保険給付の増が懸念されることから、保健指導及び定期検診などによる早期発見・早期治療に努められたい。

5. 天塩町水道事業特別会計の決算状況は、次のとおりである。

(単位：円、%)

区分	令和元年度		令和2年度		増減額 (決算額対比)	増減率	
	予算現額	決算額	予算現額	決算額			
水道事業 特別会計	歳入	548,951,000	549,021,364	243,800,000	243,286,430	△ 305,734,934	△ 55.7
	歳出	548,951,000	541,118,809	243,800,000	237,473,048	△ 303,645,761	△ 56.1

※ 水道料の収納額

(単位：円、%)

区分	令和2年度				徴収率	徴収率 前年度 対比
	調定済額 (現年+過年)	収入済額	不納欠損額	収入未済額		
水道料	124,841,419	123,839,108	0	1,002,311	99.2	0.0

令和2年度天塩町水道事業特別会計では、歳出総額は、237,473千円で、建設改良費などの減少で、前年度より303,646千円の減額となっている。

収入未済額は、水道使用料が1,002千円で、前年度より22千円の増額となっており、引き続き、水道使用料を納付されている方との公平性と歳入確保のため、滞納処分履行等により徹底した徴収に努められたい。

また、水道管敷設について、老朽化による漏水が多いことから、計画的に水道管の新設・改修を検討していくことが必要と思われる。

6. 天塩町下水道事業特別会計の決算状況は、次のとおりである。

(単位：円、%)

区 分	令和元年度		令和2年度		増減額 (決算額対比)	増減率	
	予算現額	決算額	予算現額	決算額			
下水道事業 特別会計	歳入	225,700,000	225,504,095	244,500,000	243,797,033	18,292,938	8.1
	歳出	225,700,000	223,954,222	244,500,000	241,899,670	17,945,448	8.0

※ 下水道料の収納額

(単位：円、%)

区 分	令和2年度				徴収率	徴収率 前年度 対比
	調定済額 (現年+過年)	収入済額	不納欠損額	収入未済額		
下水道料	46,638,190	46,496,160	0	142,030	99.7	0.0

令和2年度天塩町下水道事業特別会計では、歳出総額が241,900千円で前年度223,954千円と比較すると、施設の設備更新などにより17,946千円の増額となっている。

収入未済額は、下水道使用料が142千円で、前年度より13千円増加しており、引き続き下水道使用料を納付されている方との公平性と歳入確保のため徴収に努められたい。

7. 天塩町介護保険特別会計（保険事業勘定）の決算状況は、次のとおりである。

(単位：円、%)

区 分	令和元年度		令和2年度		増減額 (決算額対比)	増減率	
	予算現額	決算額	予算現額	決算額			
介護保険特 別会計（保 険事業勘定）	歳入	341,979,000	333,327,095	346,490,000	336,700,344	3,373,249	1.0
	歳出	341,979,000	314,981,025	346,490,000	327,368,293	12,387,268	3.9

※ 介護保険料の収納額

(単位：円、%)

区 分	令和2年度				徴収率	徴収率 前年度 対比
	調定済額 (現年+過年)	収入済額	不納欠損額	収入未済額		
介護保険料	65,319,000	64,246,300	0	1,072,700	98.4	△ 0.4

令和2年度介護保険特別会計（保険事業勘定）の歳出の84.2%を占める保険給付費は275,611千円で、前年度より17,560千円の増額となっている。

介護保険料の収入未済額は1,073千円で、前年度に比べ258千円の増額となっている。

不納欠損額については見られなかった。

歳入確保と公平性の観点からも、保険料徴収については、収入未済額の減額など、なお一層の努力を期待する。

8. 天塩町介護保険特別会計（サービス事業勘定）の決算状況は、次のとおりである。

(単位：円、%)

区 分	令和元年度		令和2年度		増減額 (決算額対比)	増減率	
	予算現額	決算額	予算現額	決算額			
介護保険特別 会計（サービ ス事業勘定）	歳入	63,238,000	62,651,873	72,361,000	58,687,988	△ 3,963,885	△ 6.3
	歳出	63,238,000	61,201,589	72,361,000	57,412,284	△ 3,789,305	△ 6.2

令和2年度介護保険特別会計（サービス事業勘定）では、歳出総額で57,412千円、前年度より3,790千円の減額となっている。

今後も保険事業との連携を深め、居宅介護、居宅支援、介護予防サービスの向上に引き続き努められたい。

9. 天塩町後期高齢者医療特別会計の決算状況は、次のとおりである。

(単位：円、%)

区 分	令和元年度		令和2年度		増減額 (決算額対比)	増減率	
	予算現額	決算額	予算現額	決算額			
後期高齢者 医療特別会 計	歳入	46,900,000	43,681,490	49,311,000	47,724,165	4,042,675	9.3
	歳出	46,900,000	43,260,387	49,311,000	47,525,562	4,265,175	9.9

令和2年度後期高齢者医療特別会計では、歳出総額で47,526千円、前年度より、4,265千円増額した。

また、保険料の収入未済額は240千円で、昨年度と比較し79千円増額した。収入未済額の徴収については、なお一層期待するとともに、高齢者の健康保持や医療情報の効率的な提供などに努められたい。

10. 天塩町町民保養センター事業特別会計の決算状況は、次のとおりである。

(単位：円、%)

区 分	令和元年度		令和2年度		増減額 (決算額対比)	増減率	
	予算現額	決算額	予算現額	決算額			
町民保養センター事業特別会計	歳入	55,080,000	55,052,387	106,055,000	105,824,958	50,772,571	92.2
	歳出	55,080,000	54,052,387	106,055,000	104,824,958	50,772,571	93.9

令和2年度町民保養センター事業特別会計では、歳出総額で104,825千円で、前年度より、施設の整備費などで50,773千円増額した。

老朽化が進み修繕費が増す一方、一般会計からの繰入金が必要な収入源であることから、今後とも計画的な修繕計画を図りたい。

また、指定管理者との連携により、施設利用者の増加対策などを図り、推進に努められたい。

11. 天塩町国民健康保険病院事業特別会計の決算状況は、次のとおりである。

(単位：円、%)

区 分	令和元年度		令和2年度		増減額 (決算額対比)	増減率	
	予算現額	決算額	予算現額	決算額			
収益的収入及び支出	収入	704,866,000	704,157,715	721,355,000	721,354,897	17,197,182	2.4
	支出	704,518,000	704,157,715	721,760,000	721,354,897	17,197,182	2.4
資本的収入及び支出	収入	88,352,000	88,351,235	140,993,000	132,192,740	43,841,505	49.6
	支出	88,352,000	88,351,235	140,993,000	132,192,740	43,841,505	49.6

令和2年度病院事業の業務の状況は、病院利用患者数入院延9,268人（1日平均25.4人）、外来延15,640人（1日平均64.4人）で、前年度に比べ入院延301人の増（1日平均0.9人増）、外来延411人の減（1日平均2.2人減）となっている。

医業収益では、今年度は370,772千円で、前年度に比べ1,124千円減額となり、医業費用では、今年度は696,236千円で、給与費及び材料費の増加に伴い、前年度に比べ16,900千円の増額となっており、医業収支は325,464千円の赤字となっている。

第4 財産に関する調書

公有財産のうち、行政財産については、土地及び建物は年度中の移動はなく普通財産では、土地は宅地で3,526㎡の減、原野で955㎡の増、建物については増減なしとなっている。

公有財産に関しての台帳管理については、今後とも関係課と連携をとって台帳整備に努めてもらいたい。

備荒資金組合負担金では、普通納付金1,277千円の増、超過納付金517千円の増で、残高総額325,952千円となっている。

基金の残高は、令和2年度末で、積立総額132,245千円、取崩総額80,721千円、残高総額2,222,039千円で、前年度対比50,524千円の増額となっている。

基金の設置趣旨により適正かつ効率的に運用されているか、また、計数は正確であるかについて審査した結果、いずれの基金も目的に沿った適正な運用がなされている。

※ 天塩町基金残高は次のとおり。

(単位：円)

基金名		令和2年度			増減額 (前年度対比)	備考
		積立	取崩	残高		
財政調整基金		7,068	0	676,975,521	7,068	
減債基金		830	0	83,397,782	830	
特定目的基金	ふるさと応援基金	116,713,407	62,781,000	572,830,725	53,932,407	
	町営草地基金	482	0	48,483,008	482	
	代替輸送確保基金	999	17,828,398	91,644,957	△ 17,827,399	
	振興基金	2,291,286	0	228,178,088	2,291,286	
	地域福祉基金	1,376	0	138,034,135	1,376	
	森林環境譲与税基金	12,016,053	112,000	17,558,053	11,904,053	
酪農振興基金		211,716	0	136,242,209	211,716	
国保財政調整基金		1,790	0	207,002,941	1,790	
介護給付費準備基金		173	0	21,691,667	173	
合計		131,245,180	80,721,398	2,222,039,086	50,523,782	

第5 基金の運用状況

令和2年度天塩町酪農振興基金審査意見書

1. 審査の方法

町長より審査に付された運用状況調書に基づき、関係帳簿と照合を行うとともに担当者より内容の説明を聴取し審査した。

2. 審査の結果

ア) 天塩町酪農振興基金運用状況

(単位：円)

前年度末基金の額	左の内訳		年度中の基金増加額	年度末基金の額	年度中の貸付償還元金	年度中の貸付対象額	年度中の貸付額	年度末貸付中のもの	年度末現金	備考
	前年度末貸付中のもの	前年度末現金								
136,030,493	44,327,500	91,702,993	211,716	136,242,209	16,512,500	108,427,209	0	27,815,000	108,427,209	

(令和3年3月31日)

イ) 本基金の総額は、令和2年度末で136,242千円となっており、前年度末に比べ212千円増加し、これは預金利息及び貸付利息によるものである。

運用状況は、令和元年度末貸付残高44,328千円（利用率32.6%）に対し、令和2年度中の償還元金は16,513千円、貸付金は無く、令和2年度末の貸付残高は、27,815千円（利用率20.4%）となっている。また、令和2年度末の現金は、108,427千円となっている。

年度中の貸付額がないことから、今年度においても関係機関と連絡を密に取りながら、利用拡大に努めていただきたい。

基金の経理は正確であり、目的に沿って適正に運用されている。

ウ) 改善を要する事項

審査の結果、特に改善する事項はない。

第6 天塩町の財政構造と財政指数

(1) 歳入

自主財源と依存財源の構成比は19.5対80.5となっており、自主財源の比率が対前年度比で1.2%の減となっている。

前年度と比較すると、地方税などの自主財源は78,954千円の増額、各交付金などの依存財源は606,940千円の増額、歳入合計で、寄附金、繰入金、国庫支庫支出金の大幅な増により、685,894千円の増額となっている。

(2) 歳出

義務的経費は1,539,434千円で、前年度と比較し51,143千円の増額となっており、歳出総額に占める割合は30.0%となっている。

なかでも交際費が占める割合が前年度比で2.5%減少してきている。

コロナ禍の影響か、その他経費では前年度比で7.9%の増となり、特に補助費等が前年度比で4.1%の増となっている。また、投資的経費についても、前年度と比較して94,939千円、0.8%の増となっている。

(3) 財政指数

普通会計における財政力の動向、財政構造の弾力性を判断する主要財政指数は次のとおりである。

① 財政力指数

この指数が1に近いほど財源に余裕があるとされているが、当年度は0.16で、前年度から0.01増となっている。

② 経常収支比率

この比率は、おおむね、70～75%の間に分布するのが標準とされている。本町の経常収支比率は82.8%で、前年度と比較し2.9%減少している。

財政構造の弾力性を判断する指標であることから、今後も比率の減少を期待するものである。

③ 実質公債費比率

この比率は10%を超えないことが望ましいとされている。15%を超えると黄信号、20%以上は赤信号と言われる。当年度は8.3%で、前年度より0.7%減となっているが、引き続き今後の事業計画についても起債の利用には慎重を要すべきである。

④ 将来負担比率

この比率は、早期健全化基準が350%とされ、当年度は21.6%で、前年度より15.9%増となっている。早期に影響が生じるような数値ではないが慎重を要すべきである。

第7 審査意見

次に、審査意見を述べる。

本町の令和2年度の決算は、一般会計については、歳入総額で5,217,798千円、歳出総額5,135,488千円、差引額は82,310千円で、実質収支額は76,939千円と黒字となっている。

また、病院特別会計を除く7特別会計についても、実質収支額は黒字となっており、本町の財政は収支においては健全状態にあるといえる。

歳入においては、病院特別会計を除き、一般会計及び各特別会計における収入未済額は40,881千円で、前年度に比べ8,487千円減少し、職員の努力が伺えるが、依然、未収額が多いことから、職員の適正な配置や専門の徴収員など、完納されている方との不公平感がなくなるよう、未収対策の取り組みの強化を期待する。

また、基金全体での保有額は昨年度に比べ、49,037千円の増額となっているが、各基金の今後の計画的な利用について望むものである。

町政の運営には、自主財源の確保が必要不可欠であり、今まで以上にふるさと応援寄附金の活用を期待するものであるが、約8割を占める依存財源のうち地方交付税が人口の減少などにより減額されていく中、歳入と歳出のバランスの取れた事業展開を願うものである。

当年度の町政は、様々な諸計画の構築のなか、社会経済情勢の変化を的確に把握しながら、事業の見直しや効率的な歳出の削減及び地域資源の活用を図るとともに、様々な行政課題の解決に向け取り組み、今後の町の発展を期待するものである。